



地霊の宿る町「鎌倉」

大貫昭彦

*不死鳥の町

鎌倉は時代が急変し、状況が悪くなっても、不死鳥のように蘇えり、歴史を紡いできた町です。不死鳥は西洋の霊鳥ですが、仏教にも再生、再来を約束する仏「弥勒菩薩」がいます。

この近くでは、金沢文庫称名寺の本尊が有名ですが、鎌倉にも浄智寺で拜することが出来ます。

ただ、弥勒菩薩は釈迦入滅から数えて、五十六億七千万年待たないと現れないそうです。

*東国の主都
ところが鎌倉では、時



鎌倉・若宮大路

代の変る度に救世主が現れました。例えば元弘3年(1183)、新田義貞の軍勢によって幕府が倒されると、足利尊氏が現れ、京都に室町幕府を開き、鎌倉に公方を置いて東国の都にしました。

しかし、それも百年で幕を閉じ、有力者のいない、商人や職人もまばらな活気のない町になってしまいました。この時代に長谷の大仏殿は津波に流され、国王大仏は露座になってしまったので、再建する力が、鎌倉にはなかったのです。

*早雲の復興
大仏殿が流されたのは、破竹の勢いで勝ち進んだ早雲は、永正九年(1512)玉縄城を築き、その工事中、鶴岡八幡宮の落慶まで、20余年を詣で、鎌倉再建を誓いかけた大事業でした。

9年(1540)実現した早雲は、永正九年(1512)玉縄城を築き、大鳥居再建を経て、上宮の落慶まで、20余年を詣で、鎌倉再建を誓いかけた大事業でした。

明心4年(1495)頃、とされますが、戦国時代の雄北条早雲が、箱根を越え、小田原に現れたのもこの年です。歴史舞台に次の役者が登場したのです。

枯るる樹にまた花の木を植ゑ添へて
もとの都に成してこそ見ゆ
早雲
早雲の遺志は、長男の氏綱に受け継がれ、天文

*家康公の故郷
しかし、後北条氏の時代も百年足らず、豊臣秀吉の前に亡びました。次に鎌倉を救ったのは、徳川家康です。秀吉に従って小田原城を攻略した家康は、関東を手にするため、鎌倉には特別な計らいをしました。

源氏の血筋であること、自分を源頼朝の子孫である、だから鎌倉は先祖の地であると主張し、税を軽くしたりしました。鶴岡八幡宮の修復、英勝寺の創建、東慶寺の復活など、徳川家の支援によって実現したものです。

家康は鎌倉に学ぶことも熱心で、「吾妻鏡」を愛読し、木版本まで作らせた。孫の水戸光圀が、「新編鎌倉志」を著したのも、その感化によるものでしょう。鎌倉は、政権とは無縁になりましたが、各所旧跡の地として蘇ったのです。

*別荘地から国際観光都市へ
明治に入ると、鎌倉は海山に恵まれた保養地として注目され、別荘地、文士の町として賑わいました。第二次大戦後は、歴史や史蹟の豊かな観光都市、さらに近年は国際観光都市として活気に満ちています。こうして見ると、鎌倉は町全体が地霊の宿るパワースポットであることが分かります。

鎌倉歴史文化交流館 開館

歴史・文化の紹介や出土品を公開



鎌倉の歴史・文化を紹介し、発掘された出土遺物などを公開する「鎌倉歴史文化交流館」が5月15日、開館した。写真。

場所は鎌倉駅西口から徒歩10分ほどの住吉街の中で(扇ガ谷1-5-1)、鎌倉市が2013年に一般財団法人「鎌倉歴史文化交流財団」を設立し、発掘された出土遺物などを公開する「鎌倉歴史文化交流館」が5月15日、開館した。写真。

場所は鎌倉駅西口から徒歩10分ほどの住吉街の中で(扇ガ谷1-5-1)、鎌倉市が2013年に一般財団法人「鎌倉歴史文化交流財団」を設立し、発掘された出土遺物などを公開する「鎌倉歴史文化交流館」が5月15日、開館した。写真。

三浦の二大霊場が同時開帳

49札所で秘仏公開

西国三十三観音霊場の巡礼を模して源頼朝が持ち込んだとも伝わる三浦半島の霊場めぐり。定期的には御開帳をしている。秘仏が一堂に秘仏公開した。

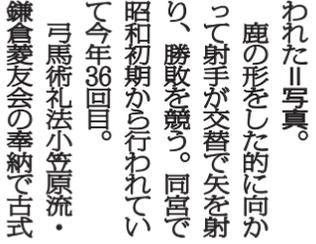
行基が724年に開いたと伝わる薬師如来霊場(33年おき)の四霊場。今年はこの霊場の御開帳が132年ぶりに重なる特別な年

王尊像の開眼法要、本尊薬師如来開眼法要が厳かに執り行われた。写真。

住職の交代式も行われ、第76世となった土屋慈恭住職(51)は「33年に一度の御開帳法要、本尊薬師如来開眼法要が厳かに執り行われた。写真。」

本館(延べ床面積約1138㎡)と別館(約268㎡)があり、うち展示面積は403㎡。本館のエンタランスには、鎌倉を象徴する流鏑馬のパ

以上が集まり、稚児行列、新造された仁



端午の節句の5月5日、鎌倉宮で草鹿の神事が行われた。写真。

鹿の形をした的に向かって射手が交替で矢を射り、勝敗を競う。同宮で昭和初期から行われていて今年36回目。

弓馬術礼法小笠原流・鎌倉養友会の奉納で古式

古式ゆかしく草鹿 鎌倉宮で弓道保存会



射手との争った。的奉行と

和賀江島を清掃
市民や交流団体参加

鎌倉市材木座の日本最古の築港で国指定史跡の「和賀江島」の清掃保全活動が薄曇りの5月14日



住民ほか商店会、鎌倉岩手県人会、岩手県から北上市和賀江島清掃団、藤克英代表)22人も加わり、大潮の正午すぎから「ゴミ袋とトンヤ」を手に沖に向かって活動開始。目立ったゴミはほとんどなく、予定より早めに清掃活動を終了した。

Yamato
かまいたすく
雪ノ下本店 逗子店
鎌倉駅前本館(かの鎌倉)
ルミネウイング(大船)店

34万円を預託
書き損じハガキで鎌倉ユネスコ協会

鎌倉ユネスコ協会の「書き損じハガキ・キヤンペーン2017」が5月末日で締め切れ、約23万円、切手約10万7千円、プリペイドカード他3千円、合計を換算すると約34万円。

鎌倉市内の小中学校、横浜雙葉小学校なども協力した。切手の仕方集計作業を行った北鎌倉女子学園社会福祉委員会の生徒は「少しの努力でこんなに賛同が得られると、は思わなかったと話していた。」



村山耕二 ガラス作品展
-大地を溶かして-
6月24日(土)~7月4日(火)
10時~17時 ★作家在廊予定 (6/29,30)
銀の鈴ギャラリー
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下3-8-33
TEL 0467-61-1930 水曜定休

茅木家
八幡宮前・蒲焼専門店
☎ (22) 1460

GALLERY 一翠堂
貸ギャラリー 鎌倉市小町2-8-35
http://issuido.jp/gallery.html

鎌倉といえど... 鳩サブレ

豊島屋
http://www.hato.co.jp